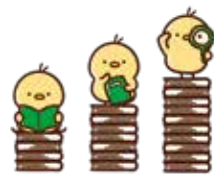


こんな時どうする？図書館ナビ

～図書館のカウンターでよく聞かれる質問をまとめました～



Q 開館時間中に返却に行けないときは？

A 以下の方法で返却できます。

①市立図書館または三原分館の返却ポストに入れて返却する（本・雑誌のみ）

②市民交流センター（市と福良を除く）の窓口で返却する（本、雑誌、CD、DVD、紙芝居が対象）
※大型絵本や他市から借りた本は、上記の方法では返却できません。必ず借りた図書館（室）に直接返却してください

Q 借りている本を破ったり、汚したりしてしまったら？

A そのままの状態で貸出した図書館（室）にお持ちください。セロハンテープやのりでの補修はお控えください。図書館で状態を確認し、修理等の対応についてご案内します。

Q 読まなくなった本を寄付したいときは？

A 市立図書館では管理上の都合から、郷土資料以外の寄付は受け付けておりません。

Q 今まで借りた本の履歴を知りたいときは？

A 返却後は貸出履歴が自動的に消去されますが、貸出履歴を確認する方法は2つあります。（どちらも無料でご利用いただけます）



蔵書検索

①蔵書検索システム「利用者ポータル」の「My 本棚」機能を利用

※利用にはパスワード登録が必要です

スマートフォンやパソコンから利用でき、借りている本や貸出履歴を表紙画像で確認できます。初めて使う場合は、「貸出履歴を残す」への同意が必要です。

パスワードを登録するとできること

- 貸出や予約状況の確認
- Web 予約・受取館（室）の指定
- 図書利用カードのバーコードの表示
- 返却お知らせメールの設定

※パスワードを登録しなくても、市内4館（室）の休館日を2カ月前まで確認できます

② 読書手帳シールの配布

手作りの読書記録をつけたい人におすすめです。

本のタイトルや著者名、評価の★マークが印字されたシールを無料で配布しています。（カウンターで「シール希望」とお伝えください）

※読書手帳は18歳以下の人を対象に無料で配布しています。

カラーはブルーとピンクの2色から選べます



パスワード登録の方法

①上の二次元コードを読み取ると、「蔵書検索」のページが表示されます。



②上記赤枠の三本線→利用照会→新規パスワード登録の順にクリックしてください。

③利用者番号、氏名、生年月日を入力してください。

④登録パスワードを入力してください。

⑤登録完了です。

特集

知れば、もっと身近になる

図書館の魅力、再発見



市ホームページ



開館時間 9:30～19:00

※日曜日・祝日は全館室17時まで

※土曜日は広田・湊地区公民館図書室のみ17時まで

8月の休館日

◆市立図書館、広田図書室

3日、10日、12日、17日、24日、28日、31日

◆三原分館、湊図書室

5日、12日、19日、26日、28日

図書館ってこんなところ！

図書館は、本を通じて新しい知識や感動と出会える場所です。ふと手に取った一冊が世界観を広げ、思いがけない発見や学びにつながるかもしれません。あなたにぴったりの一冊との出会いが、新しい一歩につながります。

子どもから大人まで、誰でも気軽に利用できる憩いの場として、多くの人に親しまれています。

新たな好奇心を刺激し、自分だけの時間を楽しむために、まずは一度足を運んでみませんか。

誰でも無料で利用できます

ゆったりと座って何もしないでくつろげます。

フタ付き飲み物の持ち込みも可能で、自習にぴったりの静かなスペースも完備しています。



スマホでひとつでさまざまな機能を利用できます

蔵書の検索や予約もスマホひとつで簡単に行うことができます。詳しい使い方は次のページをご覧ください。

市民交流センターで返却・受取ができます

市民交流センターで実施している「取次サービス」で、本の返却や予約した本の受取ができます。（市と福良は除く）

※利用には日数がかかります

市内には図書館（室）4カ所あります

利用カードを作れば、市内のすべての館（室）で利用できます。また、返却も市内のどの館（室）でも可能です。



マンガや雑誌、CD、DVD などもあります

赤ちゃん向けの絵本から、小説やグルメ本など多彩なジャンルの本を揃えています。

※市立図書館では無料Wi-Fiが利用できます



調べもののお手伝いができます

「〇〇が載っている本を借りたい」「〇〇について知りたい」などのご要望に、市立図書館と三原分館の図書館員が資料を使ってお手伝いします。

市内図書館（室）にない本もご相談ください

県内の他市の図書館にある本についても、ご相談を承ります。

※利用には日数や制限があり、一部有料または利用不可の場合もあります



次のページでは、市立図書館のイベント情報や、人と本、人と人をつなぐさまざまな取り組みをご紹介します。

取り組み 人と本、人と人をつなぐ取り組み

淡路三原高校との連携（Sagas）

「高校生のアイデアが、図書館の新たな魅力づくりにつながっています。」

令和7年度に実施した図書館デザイン会議に参加したグループの生徒たちは、堅いイメージの図書館を親しみやすいイラストでSNS発信し、魅力的にするアイデアを具現化してくれました。

また、4コマ漫画を作成してSNSで発信したり、そのキャラクターを生かしたイベントを企画したりしました。



(左から)安田さん、松本さん、池添さん

池添 莉乃羽 三原分館を盛り上げる方法を考えるうちに、図書館に興味がなかった私の考え方が大きく変わりました。私たちが作ったキャラクターが、三原分館の楽しさを伝える助けになればいいと思います。

松本 八千鶴 自分たちが作ったキャラクターで、三原分館をより多くの人に知ってもらえたらとても嬉しいです。そのためにも精一杯頑張っていきたいと思います。

安田 真菜 図書館は堅苦しい所だと思っていましたが、探究活動でオリジナルキャラクターやイベントを考えてみて、堅苦しいだけではないことに気づきました。これからも図書館の魅力をより多くの人に伝えていきたいと思います。



南あわじ図書館 Lovers

会員募集中！
問合せは市立図書館まで

「図書館をもっと楽しく、もっと身近に。」

図書館に本や人、活動の好きな人が集い、市民活動を通じて、みんなが幸せになることを目指して活動している団体です。

主な活動内容は次のとおりです。

- ・読み聞かせ、パネルシアター、エプロンシアター
- ・さまざまな本の世界を楽しむ読書会
- ・本を通じた交流活動



南あわじ図書館 Lovers
Instagram

ブックスタート

「親子のふれあいを、本とともに届ける取り組みです。」健康課と連携し、4カ月児の乳幼児健診の際に「ブックスタート事業」を行っています。赤ちゃんに絵本を通して楽しさと喜びをわかちあう時間を持ってもらうために、読み聞かせ体験と絵本をプレゼントしています。



特集

本を借りる場所から、学びとつながりを生み出す場所へ

開かれた図書館へ向けて

ボードゲームやけん玉遊び、音楽コンサート、図書館デザイン会議など、多彩なイベントや活動を通じて、「学ぶ」「集う」「結ぶ」という3つの役割を持つ活動拠点として発展させ、南あわじ市の教育目標である「学ぶ楽しさ日本一」を実感できる図書館を、皆さんと一緒に作り上げていきます。

これからも、誰もが自由に利用できる「居場所」としての図書館を目指していきます。

イベント

夏休み図書スタンプラリー

誰でも参加できます！
市内図書館（室）で、
8月31日（月）まで
開催しています。
スタンプ5個でしおり、
10個でプチギフトを
プレゼントします。



よみきかせ会

ボランティアグループの皆さんが、絵本や紙芝居のよみきかせをしてくれます。

日程 毎月第3土曜日

対象 小学生まで



ピノキオのおはなし会

ボランティアグループの皆さんが、おえかきや工作、読み聞かせ、パネルシアターをしてくれます。

日程 毎週日曜日

対象 小学生まで

図書館デザイン会議

～図書館がいろんな人の居場所になるには？～

図書館のあり方について、利用者が意見交わすイベントを毎年開催しています。従来の「本を借りる場所」というイメージを超え、地域交流や学びの拠点としての可能性を探る場です。

※8月11日に開催予定の第4回図書館デザイン会議の募集は終了しました



これからのイベント

企画中

秋の読書週間にあわせたイベントや家族で楽しめる催しを企画しています。詳しい内容は、決まり次第、市ホームページや広報紙でお知らせします。どうぞお楽しみに。



「子ども」も「大人」も楽しく学び続ける

"学ぶ楽しさ日本一"を
学校図書館・公立図書館で実現します！

本の世界へようこそ！



わたしの美しい庭

風良ゆう／著（ポプラ社）

現代社会の「生きづらさ」を抱えた人たちの連作短編の物語。個性豊かな登場人物によって暗く重くなりすぎず、その言葉の端々には相手への思いやりや愛情を感じ、装丁のような素敵な情景が浮かんで、優しい気持ちにさせてくれます。

図書館職員のおすすめの一冊をご紹介します。
ページをめくれば、新しい発見や感動が待っています。
新しい本との出会いを楽しんでみませんか。



ライオンになるには

エド・ヴィアー／さく（BL出版）

「きみは きみらしく、ぼくは ぼくらしく」の一文が大好きです。絵もかわいくて優しいタッチですが、どこか哲学的。全世代に読んでもらいたい一冊です。



かけだしたイス

サトシン／作（あわわ）

おれにはりっぱなあしがある。とイスはふと思った。まどからそこの世界に飛び出したイスが向かった先は？躍動感あふれる絵でとても面白く、読み聞かせにもおすすめです。

30年のあゆみ

市立図書館は30周年
を迎えました



南あわじ市立図書館は、1996年（平成8年）6月、南淡町福良に「南淡図書館」として開館しました。2016年4月1日の市内図書館再編を経て「南あわじ市立図書館」となり、本年6月に、30年という節目を迎えました。